

「自分たちのまちのため
に、自分ができることは何
か」という視点を、市民一
人一人の立場で持てば、必
ず島田市は変わります。

安心して暮らせるまちの
チカラを発揮させます――

国内外を移り住み、23年前に
この地にたどり着いた私の目には、
島田市が可能性を秘めた素
晴らしいまちとして映っています。
恵まれた自然環境や伝統文
化だけでなく、このまちには、
顔と顔が見える関係があり、地
域の絆があり、都会の人が求め
る「安心」があります。住民が
気付いていないだけで、地方都
市の豊かさは、まさしくその住
み心地、つまり安心にあると思
うのです。

島田市の良さを発揮すれば、
もっとできることがあると信
じ、そしてより良い島田市を次
の世代に繋ぎたいとの強い思い
を持ち、市政運営に取り組んで
いきます。

説明責任を果たし、開か
れた議論を進めます――

今回の選挙の結果は、市民の
皆さんが出した「市民病院のま

ちなか移転」に対する答えが
「ノー」だったということです。
市民病院には、約120億円
が投資されていますが、その減
価償却は半分を過ぎたばかりで
す。また、34年が経ち、老朽化
が進んで建て替えが必要という
のも、実は本館（西棟）の部分
です。東棟は築25年、救急セン
ターに至っては、まだ10年も
経っていません。現実の課題や
現状を、まずは皆さんに説明し、
しっかりと声を聞くことから始
めたいと思います。

市民の活躍の場を広げて
個々の元気を繋ぎます――

病院をまちなかに建てること
で地域が活性化した事例は、全
国的にもありません。大きなハ
コモノや補助金で、まちが元気
になる時代ではないのです。む
しろ、地道で時間も掛かるかも
しれませんが、努力している
個々の店を、支援していくこと
が大切だと思います。

行政が、店の売りや企業努力
を再評価したり支援したりす
る、中間支援的な役割を果たす
ことができれば、元気な店が増
え、商店街もまち全体も活気づ
いていくと考えています。

市民の皆さんの多くが、やる
気・ビジョン・提案そしてキャ

リアを持っています。また、力
のある若者も大勢います。そう
いった人たちの活躍の場を広
げ、一人一人の元気を繋いでい
くことが、これからのまちづく
りには欠かせない要素だと考え
ます。

島田っ子の心と根っこを
育む教育に注力します――

島田市では、人の思いを察
し、コミュニケーション能力を
高める「心を育てる教育」に力
を入れていきます。そしてまた、
自身の故郷ふるさとに自信と誇りを持つ
「根っこづくり」も大切にしてい
ます。これらは人間の基礎力
です。世界中どこに住んでも、
この島田市が故郷となる子ども
たちの心と根っこを育むため、
教育現場の人員確保、そして住
民が地域力を発揮できる、開か
れた学校づくりに取り組んでい
きます。

子育て世代の声を反映し
た施策に取り組みます――

子育て世代のニーズをもっと
生かせれば、さらに子育てしや
すいまちになるはず。その
ためには、先輩の意見も必要で
すが、今、子育てをしている人
たちが、どういうことで悩み、

Rinuyo Someya

新市長に聞く、4年間の抱負と市政の舵取り

染谷絹代

「市民の声が届く、公平で 公正な市政を実現します」



5月20日の当選証書授与式



市長就任式



5月29日の初登庁



困り、支援を必要としているのか、現場の声を聞く必要があると思います。その上でまず取り組みたい施策は、子ども医療費助成手続きの簡略化です。現在は、就学児が病院にかかる場合、領収書などをまとめて市役所へ赴き、児童課で請求をする償還払い方式です。これを、未就学児と同様に、病院の窓口払いのみで済ませることを実現したいと考えています。

また、定員を大きく上回る需要がある学童保育の拡充にも、取り組み必要があります。今までも同じ方式か、あるいは地域の皆さんのご支援をいただくのか、先進事例なども参考にしながら、より良い形で利用者のニーズに応えられる方法を考えていきます。

より現実的な防災対策に見直し市民を守ります

防災には、防災指導員による地域防災力の底上げや教育・福祉施設の防災対策、市が大災害時に担うであろう支援の役割や、県・近隣市町との連携など、市単独あるいは広域で、対応しなければならぬ課題が多くあります。防災という範囲には、地震災害だけでなく、大雨被害や新型インフルエンザの世界流行、そしてテロ行為なども含まれます。つまり、島田市の危機管理に係るといえます。

今までの想定を越えた状況に備え、行政組織内への防災監の設置や、災害が起きたときに「生きる」ための現実的な対応、具体的には防災計画の見直しも検討していきます。

新島田市長

プロフィール

Profile

氏名／梁谷絹代（そめやきぬよ）
生年月日／昭和29年7月5日（58歳）
住所／島田市船木
経歴／市教育委員会委員長、人材育成支援NPO代表、県男女共同参画センター理事など
座右の銘／春風秋霜（佐藤一斎 言志四録より）
春風をもって人に接し、秋霜をもって自らを慎む